

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	当院での胃粘膜下腫瘍に対する EUS-FNAB と粘膜切開生検の比較検討
	研究目的	粘膜下腫瘍の病理診断に対しては, EUS-FNAB (FNB) や通常鉗子によるボーリング生検を行うことが多いが, 近年のESD 普及と共に, 粘膜切開による Mucosal cutting biopsy (MCB) も普及している. FNB と MCB の処置は共に有用であるとする報告を認めるが, 両者を比較する報告は少ない. 我々は当院での診療成績を検討する.
	研究対象者	2015 年 4 月から 2020 年 3 月に当センター消化器内科で胃粘膜下腫瘍に対する内視鏡的処置を受けた患者さん.
	研究期間	西暦 2020 年 10 月 26 日 ~ 西暦 2021 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	金田 義弘
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科消化管
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	共同研究ではない